

**水槽付消防ポンプ自動車
(水Ⅰ—A型)**

令和8年度

由布市消防本部

第1章 総則

1. 目的

この仕様書は 由布市消防本部(以下「当本部」という。)が令和8年度に購入する水槽付消防ポンプ自動車(水1-A型)「消防湯布院1号」を製作するに必要な事項を定めるものとする。

2. 適合法令

完成車は、道路運送車両法(昭和26年法律第185号)、道路運送車両の保安基準(昭和26年運輸省令第67号)及び動力消防ポンプの技術上の規格を定める省令(昭和61年10月15日自治省令第24号)に適合し、緊急自動車としての承認が得られるものであること。

製作にあたっては、日本消防検定協会による平成20年4月施行の「消防用車輛の安全基準:消防ポンプ自動車」をいずれも満たし、ISO9001/ISO14001 認証取得済機装メーカーによるISO9001/ISO14001 品質管理システムにて製造を行うものとする。

3. 仕様打ち合わせ

受注者は、製作に当たり当本部と十分に打ち合わせするものとし、本仕様書の記載事項に疑義が生じた場合には、当本部担当者に連絡の上承認または指示を受けるものとする。

4. 検査

検査は、以下のとおりとする。

(1) 中間検査

本仕様書及び製作承認図に基づき製作工程を考慮し、当本部担当者立会いのもと、納期に支障ない段階で行うこと。

(2) 完成検査

納車前に当本部にて行うこと。

5. 契約の範囲

(1) 受注業者は、新規登録及び納車までに要する費用を負担すること。但し、自賠責保険・重量税及びリサイクル料は当本部の負担とする。

(2) 設計又は構造上、技術的に判断して、本仕様書の事項を改める必要がある場合、当本部の承認を得た後、それを実行すること。

(3) 本仕様書に定めてない事項についても、納入業者が公表した仕様及び工作上、当然なことは、これを施し、不明な点は当本部と協議し、指示に従うものとする。

6. 提出書類

(1) 製作前提出書類(製作納入図)

受注業者は、製作に先立ち以下の書類を提出し、承認を得た後に製作すること。

書類は、A4 ファイル綴りとし、2部提出すること。

- ・ 製作工程表
- ・ 艀装外観5面図
- ・ 骨格図
- ・ 積載物品配置図
- ・ キャブ内配置図
- ・ 主ポンプ及び真空ポンプ袈装図
- ・ 動力伝達装置関係図
- ・ 配管図
- ・ 水槽図
- ・ 電気配線図
- ・ その他必要と思われる図面等

(2) 完成時提出書類

受注業者は、納入時に以下の書類を提出すること。書類は、完成図書と取り扱い説明書はそれぞれ2部ずつ提出すること。又、点検整備書及び保証書も指定部数提出のこと。

① 完成図書

- ・ 完成車の5面写真
- ・ 製作工程写真
- ・ 車検証の写し
- ・ 自賠責保険証の写し
- ・ ポンプ試験成績書
- ・ 改造自動車計算書
- ・ 鑑定書写し
- ・ 各検査結果の写し

② 取り扱い説明書

- ・ 完成5面図
- ・ 配管図
- ・ 電気配線図
- ・ 動力伝達装置関係図
- ・ 配管図

- ・ シャーシ取扱説明書
- ・ ポンプ取扱説明書
- ・ 艀装装置取扱説明書
- ・ 付属品取扱説明書(必要と思われるもの)

③ その他の提出書類

- ・ シャーシ点検整備書 (1部)
- ・ ポンプ点検整備書 (2部)
- ・ 保証書 (1部)
- ・ ISO9001/ISO14001 登録証の写し(2部)

7. その他

受注者は納入にあたり、取り扱い説明を行うこと。

8. 保証期間

保証期間は1年とする。但し、メーカーの公表した保障期間が1年より長い場合は、それを尊重すること。尚、保障期間後であっても、設計不良・製作不良あるいは、材料不良に起因する不具合が発生した場合は、受注者が直ちに無償で、修理又は交換を行うこと。

9. 納入期限

令和10年 3月24日(金)

10. 納入場所

大分県由布市挾間町挾間278番地
由布市消防本部

第2章 仕様

1. シャーシ

消防専用シャーシのポスト新長期排出ガス規制適合車で、最新のものとし、又下記の機能を有するものとする。

(1) 型式	ダブルキャブオーバー型
(2) 寸法全長	7500mm 以下、全幅 2500mm 以内、全高 3200mm 程度
(3) ホイールベース	3,000mm 以上 4,000mm 以内
(4) 駆動型式	4輪駆動
(5) 乗車人員	6 名
(6) 積載量	5.5t級
(7) エンジン型式	ディーゼルエンジン水冷直列5気筒過給機付
(8) エンジン出力	154Kw(210ps) 以上
(9) 変速機	マニュアルトランスミッションまたはオートマチックトランスミッション
(10) 総排気量	5000 cc程度
(11) タイヤ	ラジアルタイヤ(付属品としてホイール付きスタッドレスタイヤ)
(12) バッテリー	蓄電池の容量は、12V-100AH 以上×2個とする。(容易に点検及び取り外しができること。)
(13) オルタネーター	24V100A 以上
(14) 空調	シャーシ純正エアコンディショナー(冷暖房装置はダブルキャブに対応するものとし、後部座席用にエアコン吹き出し口を設けること。)
(15) 動力伝達装置	フルパワーPTO
(16) 冷却装置	ラジエター・サブラジエター・ポンプミッション冷却装置
(17) キャブチルト装置	電動油圧式とし油圧ポンプが故障した場合の補助装置を取り付けのこと。
(18) 保温装置	オイルパンヒーター(コード付)
(19) 制動補助	ABS 装置
(20) 計器類	速度計・エンジン回転計・油温計・エンジンアワメータ
(21) フロントバンパー	上部に縞鋼板を貼り隊員が乗れるようにすること。またフロントガラス上部には手すりを2箇所設けること。
(22) その他付属品	助手席ミラー電動格納式・後部シート下部物入れ加工・全席シート防水処理・ステップ奥蹴込部及びフェンダーR 部アルミ保護板貼り
(23) 車検登録	現有資機材を積載することを考慮し、余裕重量 100 kg 以上をもって登録すること。
(24) その他	GPS ナビゲーションシステム(TV は視聴不可とすること) バックアイカメラ (ドライブレコーダーを指示する場所に設置し設定を行うこと。)

2. ポンプ装置

(1) 主ポンプ

① ポンプは、インデューサーを内蔵した高性能な高圧 2 段バランスタービンポンプとし、軽量化の為インペラーを含む主材質はアルミ製とする。インペラーを含むポンプ内はアルマイト処理及びセラミックコーティングによる防錆・防食特殊コーティングを施すこと。

また、ポンプ軸はメカニカルシールとし、ポンプメタル部にも一切オイルを必要としないメンテナンスフリーポンプとする。また、ポンプは国家検定に合格し、あらゆる回転・落差・放水量及びポンプ圧力状態においても振動・発熱・異常音・漏水のない構造とする。

② ポンプ性能 (A-2 級)

規格放水量 0.85Mpa 2000L/分 以上

1.40Mpa 1400L/分 以上

③ 不凍液注入装置を設けること。

④ メカニカルシール内は、水ポンプの空運転に対応する冷却機構を設けること。

(2) 真空ポンプ

① 真空ポンプは無給油式四翼偏心ロータリーポンプとし、耐久性の向上を計るためにブレード材にはピーク材を使用し、真空ポンプ内に大量の水が流入しても支障のない構造とすること。また、ポンプ内を洗浄できる構造であり、環境面に十分考慮し、オイルやグリースを一切必要としない構造である事。

② メンテナンス及び真空漏れの原因につながる呼水回路の気水分離装置・フィルター等を設けない構造であり、支障がない構造であること。

③ 真空ポンプの駆動は、ポンプ駆動軸から行うものとし、自動及び手動操作ができるものとする。

④ 真空作成能力は吸管外端閉塞にて、30 秒以内に 0.085Mpa 以上とする。

(3) 自動揚水装置

① 揚水操作にかかわる真空装置の作動、停止及び回転数の制御を自動的に行う APU 型揚水装置とする。又、通常の操作が不能な時でも容易に電磁クラッチを作動させ、真空ポンプを作動できるよう非常回路を設けること。

② コントロールパネルを左右に設け、各ボールコックの状態・揚水状況並びに放水状態を図形表示モニターで表示すること。

③ 揚水警報装置を設けること。

真空ポンプ作動スイッチを押し、30秒経過しても揚水完了しない場合には、揚水完了灯の点滅と同時にブザー警報を発する構造とする。

④ 電磁クラッチ保護の為、エンジン回転が適正回転より高回転の場合には、作動スイッチが入らない安全構造とする。

⑤ ポンプ操作中万が一落水しても、ポンプ内の残水をドレンせず、再揚水できるよう、落水感知装置を設けること。

(4) 吸水口

① 吸水口は車両左右側面に、内径 75mm のボールコックを各 1 個取付け、それぞれに確認装置付エゼクター装置を設けること。

② 吸水口には、吸口ストレーナー及び自在エルボを設けること。

(5) 放水口

① 放水口は内径 65mm ボールコックとし、車両両側に各 2 個設けること。

② 放口媒介はマルチコネクター式とすること。

③ 自動放口閉塞弁(逆流防止弁)を設けること。

(6) 中継口

① 中継口は内径 65mm ボールコックとし、車両左右側面に各 1 個設けること。

② 中継口媒介及び中継口ストレーナーを設けること。

(7) 冷却用配管

① ポンプ連続運転時に十分冷却できるよう、冷却用配管を吐出配管より分岐し、サブラジエター及びポンプミッション冷却装置に接続し設けること。

また構造上可能な限り、吸水配管等へ還流させる構造とすること。

② 冷却配管には、ストレーナーをサブ回路・メイン回路の 2 系統設け、片方が詰まっても別の回路で冷却できるようにすること。

(8) ドレン配管

① 可能な限りポンプスイッチに連動し、メインのドレンコックを開・閉できる電動ドレンバルブを設けること。又、構造上可能な限り吸水コック及び中継コックも連動してドレンできるようにすること。

② その他必要と思われる箇所に、手動式のドレンコックを設けること。

③ 各ドレンコックはできるだけ地上高を確保できるよう考慮すること。

(9) その他

吸水配管、放水配管及び中継配管は、配管用炭素鋼管を使用し、錆止め処理を行うこと。

(10) 自衛噴霧装置

車体左右に各 3 個自衛噴霧用ノズルを装備し、左右ポンプ室部より操作ができる構造とすること。

(11) 放水銃

- ① 車両天板に回転、俯仰が可能な放水銃を1基設けること。
- ② 放水銃への水または混合水の供給は電動式ボールコックによるものとし、ポンプ室右側にその作動スイッチを設けるものとする。なお、本作動スイッチはカバー付きの防水式スイッチとし、その他の電装品スイッチと混同することが無いようにすること。また、本電動式ボールコックは故障時等における非常操作が行える構造とすること。
- ③ 放水銃に取り付けるノズルはオートマチック機能付きのマックスフォースノズル(NV-65MMS、400~2,000L/min)とする。また、クラスA泡またはクラスB泡消火薬剤を含む混合水が供給された場合においては、発泡させることができるように泡ノズルアタッチメント(FN-65MMMX)も取り付けが可能であることとする。

(12) 水槽及び付属装置

- ① 水槽は1,500L軽量樹脂のPP製(ポリプロレン製)とし、上部にマンホールを設け、日本消防検定協会の型式鑑定を受けたものとし、水槽への補給圧力は0.35Mpa以上とする。
- ② 上部板は4.5mm以上、側板は4.0mm以上、底板は6.0mm以上とする。
- ③ 上部板は滑り止めを施すこと。
- ④ 水槽から主ポンプへ吸水連結管は内径75mmボールコックを設け、車体両側で操作できるものとする。
- ⑤ 水槽は自己補給が可能であり、ポンプへの補給口並びに排水口が設けられ、配管には緩衝装置を施していること。主ポンプ吐水側は内径40mm~65mmのジョイント及びボールコックを介して接続し、車体左右両側面で操作できるものとする。
- ⑥ 水槽には、65mm差し込み雌金具の、逆流防止弁付補給口を車体両側に設け、補給口雌金具には雄キャップを取付けること。
- ⑦ 水量計は車体両側の見やすい位置に取付け、保護金具の付いたプラスチックパイプ製とし、下部に排水バルブを取付けること。
- ⑧ 水槽は振動、衝撃などにより損傷、緩みが生じないよう車台に固定すること。
- ⑨ 水槽にはオーバーフローパイプ及び排水バルブを取付けること。
- ⑩ 水槽後部はアルミシャッター付機材ボックスとし、内部には棚を取付けること。

(13) 自動混合システム

① 本装置は、電気モーター(DC24V)にてプランジャーポンプを作動させ、放水量の計測により、あらかじめ指定した混合比率になるよう自動的に消火剤を水に混合させ、ボタン一つの操作で容易に混合水を作り出すものとする。また、流量や圧力変化にも自動で対応し、左右の全放水口とも同じ濃度の混合水を作り、混合比0.1~3.0間で使用出来、0.1%毎に変えられるものとする。車両上部の放水銃からも混合水を吐出可能とする。プランジャーポンプは1.5MPaにて最大24ℓ/min原液を吐出可能で、混合比3.0%時に放水量800ℓ/minまで混合可能とする。原液タンクは、クラスA用/クラスB用の2つを備え、切り替えバルブによりクラスA/クラスBを切り替えられるものとする。切り替えの際は、フラッシングできるものとする。

- ② 型式 YONE株式会社 フォームプロ モデル FP-2024

TYPE I 消火剤フォレックスパン・S及び、クラスB消火剤使用

- ③ ポンプ室右側にデジタル式操作盤を設け、流量、積算流量、混合比率及び積算液量の表示切り替えが可能であり、且つ、混合比率の切り替えもできること。消火剤混合の ON・OFF 操作は車両の左右で可能とすること。ポンプ室左側にデジタル式流量表示盤を設け、車両右側又は左側の放水量の表示切り替えができること。
- ④ 消火剤タンク容量はクラスA用タンク 30 リットル以上、クラスB用タンク 75 リットル以上とし、内容量が確認しやすく、シャットオフ弁を操作しやすい位置に設けること。またタンク内に設けた低水位センサーにて消火剤の残量が少なくなると警告が操作盤に表示され、その後プランジャーポンプが自動停止すること。
- ⑤ 消火剤を容易に補給できる補給口を設け、補給時に使用する専用の補給アダプターを付属させる事。
- ⑥ プランジャーポンプはオイル交換がしやすい場所に設けること。
- ⑦ ラインストレーナーは、メンテナンスを容易にできるようにドレンプラグを外し易い場所に取り付け固定すること。ポンプモーターベースユニットは、ポンプに重力供給ができるように、タンクの吐水ラインより下に装置すること。
- ⑧ 混合装置の電源オンはP.T.O連動とし、電源オフについては単独のスイッチを設け、車両の電源を切ってもデジタル表示コントロールモジュールの流量積算が保存される構造とするもので、スイッチの切り忘れ防止のため、電源に関する警告灯をキャビン内前方上部の集中パネル内に設けること。
- ⑨ 放水停止時においても、流量計が完全に停止し、且つ冷却水や水タンクへ混合水が混入しない様に専用のインジェクション兼用 SUS 製逆止弁を艤装する事。
- ⑩ 泡原液は、車両積載の電動モーターにより外部のポリ缶からクラス A 用及びクラス B 用タンクへ補給することができること。(型式 YONE 株式会社 パワーフィルシステム DC タイプ) 泡原液の補給は 36ℓ/min 可能で、電源は、DC24V とし、車両側板に専用操作パネル(クラス A 用/クラス B 用切替バルブ)を設けること。操作は、タンク補充完了時自動停止のオートモード及びマニュアルモードにて泡原液の補給ができること。

3. 車体の形状及び構造

(1) 車体構造

- ① 車両左右両側面をあおり型とし、耐食性を考慮し、ボディ全体を可能な限り PP 材を用いた、オールシャッターボックス構造とする。
- ② 車両左右両側面及び前後面は、すべて溶接構造とし丁寧に仕上げる。但しポンプの補修に必要な部分は取外し出来る構造とする。

(2) 艤装等

艤装は、堅牢で耐久性が十分にあるよう製作するとともに、防食性、耐水性及び耐久性に優れていること。また、ポンプ及び車体の構造材、その他の艤装材料は、JIS 規格等に適合するもの又はこれと同等以上の強度及び耐久性を有するものを使用し、艤装材料の厚さは次の通りとすること。

○キャブ及びドア	シャシメーカー仕様
○側板	1.6mm 以上
○サイドエプロン	1.2mm 以上
○フェンダー	1.0mm 以上

① 車両（キャブ）

ア) キャブの構造はダブルキャブミドルーフ構造(参考品:飛鳥車体制MZ-G型同等以上)とし、両側面に標識灯を設けること。

イ) 電動式チルトとすること。

ウ) 左右両側面に、2箇所ずつ乗降用ステンレス製手すりを設けること。

エ) 運転席側のサイドミラーには運転手用の確認ミラーを取り付け、助手席側のサイドミラーには助手席者用の確認ミラーを取り付けること。

オ) 乗り込み部分及び蹴り込み部分には、アルミ保護板を張ること。

カ) 各シートには防汚処置を施すこと。

キ) キャブ後部席後方は、空気呼吸器取付装置としてウォーカーウェーブラケットを4基設けること。また、後部シートは呼吸器取付高さに合わせたカット式とし、呼吸器の左右にはヘルメットフックを計4か所設けることまた下部は収納ボックス構造とすること。

ク) キャブ内中央に手摺パイプを取り付け、S字フックを8個設けること。

ケ) スイッチ類は、キャブ内に可能な限り、まとめて設けること。

コ) 充電器からポンプ車バッテリーを充電できるよう配線し、バッテリー充電器を車内の乗降等に支障のない位置に搭載し、蓋付防水のマグネット取付式コンセントを設けること。外部入力用コードの長さは15m以上とする。なお、外部電力電源稼働時にエンジンスタートした場合の警告(注意喚起)装置または、エンジンカット機能を設けること(設置場所については別途協議すること)。

サ) 1,000W以上のインバーターを取り付け、100V・2口コンセントを必要数設けること。

ス) キャブ内ルーフセンターコンソール及びブルーリアコンソール(落下防止ネット付)を設けること。

セ) キャブのステップは、全面をサンドメタル加工のグレーチングタイプとし、滑り止め措置を施すこと。形状に関しては別途協議の上決定すること。

② 車両（ボディ）

ア) 上面はアルミ縞鋼板貼りとする。

イ) ポンプ室内上部の空間を利用し、アルミ製収納ボックスを設けること。

ウ) ポンプ室上部には、可能な限り大きな点検口を設けること。

エ) 上面に引出しダンパー式の梯子積載装置を設け、8.7m三連梯子及び鍵付はしごを取付けること。また、地上より一人で引出展開できる構造とすること。

オ) 左右両側面上部(あおり部分)左右に各3箇所、後部に2箇所、前方に2箇所にそれぞれLED作業灯を設けること。

カ) キャブ後方サイドに360度回転及び伸縮できる、LED照明灯(NL120DLED同等以上)を2箇所設けること。

キ) 車体艤装上部の支障のない場所へ、サーチライトを取り付けること。(参考品:ナイトスキャンチーフLED90W(EV11)-4灯)尚、リモコン操作にて、地上で操作可能なものとする。

ク) シャッターについては次の通りとすること。

α. 取付位置は、車両左右両側面ポンプ操作部の各1面、車両左右両側面リアフェンダー上部の各1面、車両後部両側面の各1面、車両後面部分の1面で、計7面とすること。

- b. 耐久性及び防水性を有する車両用 ROM 社製パーシャッターとすること。
- c. シャッター閉鎖時にボディと接触する面は、ステンレス板等の保護板を取り付けること。
- d. シャッターの開閉は手動式で、閉鎖時に有効な完全ロック装置を取り付けること。
- ケ) 収納ボックス等については、次の通りとすること。

各収納ボックス内には積載物品を有効に照射できる内部照明灯(LED灯)を取付け、シャッター及びダンパー扉の開放と連動して点灯する構造であること。

また、積載物品が完全に収納できるようにすべて固定金具及びベルト等で固定し、走行時の移動や破損を防ぐ構造であること。

- a. 左右両側面ポンプ計器類下部展開式収納庫で二重構造のダンパー扉とし、扉内側にアルミ縞鋼板を張り付け、踏台として使用できる構造とすること。
- b. 左右両側面リアフェンダー部展開式踏み台で、扉内側にアルミ縞鋼板を張り付け、踏台として使用できる構造とすること。
- c. 左右両側面後方オーバーハング部展開式収納庫で二重構造のダンパー扉とし、扉内側にアルミ縞鋼板を張り付け、踏み台として使用できる構造とすること。
- d. 左右両側面リアフェンダー上部
 - I) シャッターを取り付けること。
 - II) シャッター内部には、各資機材に合わせた棚を設け、引き出し装置及び可倒式落下防止枠棚を設けること、またノズル器具等の収納場所に、90度を開いた状態で止まる回転式パネルを設けること。
- e. 後部
 - I) シャッターを取り付けること。
 - II) シャッター内部には各資機材に合わせた棚を設け、可倒式落下防止枠棚を設けること。
 - コ) 後面に収納式の昇降用はしごを設けること。
 - サ) ボディ取付部品のボルト及びビス類は、全てステンレス製を使用すること。
 - シ) 収納庫等には、すのこを敷くこと。
 - ス) 各ボックスは防水構造とし、水抜きパイプを設け、車体下回りに排水できること。

③ その他

- ア) 車両に赤色警光灯(標識灯付)及び、電子サイレン(拡声装置付)を設けること。また、車両左右両側面各1か所、車両前部2箇所、車両後部(保護枠付)2箇所にLED赤色点滅灯を設けること。
- イ) キャブ及びボディ部分には、各ステップを設け縞鋼板製とし、縁はプレスすること。
- ウ) 全車輪に泥除けを取り付けること。
- エ) 後退警報ブザーを設けること。
- オ) 車両用バッテリーは引き出し式とし、専用ボックスに収納すること。
- カ) 車体前部にバウシャックル2個、側面、後部に牽引フック(扉付)またはバウシャックルを設けること。

4. 無線装置等

既存の車両無線機・車両動態システム(AVM)を移設すること。尚、アンテナ及び配線は新規製品とする。

5. 塗装・記入文字等

(1) 車体は特殊化学液にて十分に錆落としのうえ、プライマー、パテ、サフェーサーを行い、十分に乾燥させ、赤色塗装にて吹き付け塗装を行うこと。

(2) ボディに取付けられた部品は、塗装前に一旦取外し塗装後再度取付け、取付け部の不塗装部分をなくすようにすること。

(3) 外部に露出している砲金部分にはすべてクロームメッキを施す。ただし、アルミ及びステンレス類は除く。

(4) ボディ下部艀装部分は黒色塗装をおこなうこと。

6. 記名表示

指定がない場合は、丸ゴシック体のカットニングシート貼りとする。その他記載がないものに関しては、別途協議とする。

(1) 機器の操作部分には操作ネームプレートを取付ける。

(2) 標識灯及びキャブドアには指定の文字を記入する。

・ 標識灯「湯布院I」黒文字

・ キャブドア、フロント「由布市消防本部」緑文字反射シート・左始まり緑文字反射シート

(3) キャブ天井に対空標示として、指定の文字を記入する。

対空標示「湯布院I」H=600 W=300

(4) 指定の付属品にも所属名「由布市消防本部」を記入すること。

(5) キャブ及び車輛側面等に、当本部指定のライン及び文字を記入すること。

(6) シャッター部分に、当本部指定の文字・デザインを記入すること。

別表 A 取付品及び取付装置

品名	規格	数量	単位
1. ポンプ圧力計		2	個
2. ポンプ連成計		2	個
3. エンジン回転計		1	式
4. エンジン油温計		1	式
5. 赤色警光灯	ウイレン 4500 シリーズ	1	式
6. 電子サイレン	TSK-D152Y (DC24V)	1	式

7. 照明灯	手動式	2	個
8. 後退(右左折時)警報器	電子サイレン連動	1	式
9. 標識灯	※文字記入	1	式

別表 B 軽微な変更として備えることができる取付品及び取付装置

品 名	規 格	数 量	単 位
1. 電動モーターサイレン	自動吹鳴	1	式
2. 真空計		1	式
3. ポンプ回転計		1	式
4. 流量計		1	式
5. 積算流量計		1	式
6. キャブチルト装置(電動)	キャブチルト用 支持棒付	1	式
7. オイルパンヒーター	コード付	1	式
8. スタッドレスタイヤ (アルミホイール付き)	予備タイヤ 1 本含む	1	式
9. 作業灯	左右各 2 LFIA300 後 2 LFIA300	6	個
10. 車外無線送話機取出口		2	個
11. ブースターケーブル		1	式

別表 C 以外の取付品及び取付装置

品 名	規 格	数 量	単 位
1. 前部赤色点滅灯(LED灯)	LFA100S	2	個
2. 後部赤色点滅灯(LED灯)	LFIA300、保護枠付	2	個
3. 側部赤色点滅灯(LED灯)	左右各 2 LFIA300	4	個
4. 路肩灯		2	個
5. 後輪照射灯		2	個

6.車輪止め収納装置		1	式
7.三連はしご積載装置		1	式
8.キャビン室内灯(LED灯)		1	式
9.車内スピーカー		1	式
10.計器灯(LED灯)		1	式
11.ボックス灯(LED灯)		1	式
12.自動揚水装置		2	個
13.泥除けゴム		1	式
14.フォグランプ		1	式
15.牽引用フック	前部バウシャックル 2 後部牽引フック 1	3	個
16.助手席用補助ミラー		1	式
17.サンバイザー		1	式
18.サイドバイザー		1	式
19.GPSナビゲーション		1	式
20.デジタル時計	大型	1	式
21.スライドフック	S字管(消音)	8	個
22.ハンガーフック		4	個
23.集中ドアロック装置		1	式
24.フレキシブルマップランプ	LED	1	式
25.フロアマット		1	式
26.ゴムマット		1	式
27.無線機移設		1	式
28.車両動態システム移設		1	式
29.車外スピーカー		1	式

30. 地図入れボックス		1	式
31. 訓練旗たて金具		1	式
32. 消防章		1	式
33. バックアイモニター装置		1	式
34. ドライブレコーダー		1	式
35. バッテリー充電装置		1	式
36. 外部電源入力コンセント		1	式
37. 空気呼吸器取付装置 (後部座席4席分)	ウォーカーウェーBKT	1	式
38. 予備ボンベ収納装置	530CⅢZ 4本収納	1	式
39. 乗降用展開式はしご		1	式
40. ナンバープレートフレーム	ステンレス製	2	個

別表 D 備えなければならない付属品

品 名	規 格	数 量	単 位
1. 吸管(超軽量ソフト吸管)	75mm×10m	2	本
2. 吸管(可搬ポンプ用)	65mm×3m	2	本
3. 吸ロストレーナー	樹脂製	2	個
4. 吸管ストレーナー	樹脂製	2	個
5. 中継ロストレーナー	樹脂製	2	個
6. 吸管ちりよけかご		2	個
7. 吸管まくら木	ゴム製	2	個
8. 吸管ロープ		2	本
9. 消火栓金具	呼称 75 メスネジ ×65 差込メス	1	個
10. 中継用媒介金具	呼称 65 メスネジ ×65 差込メス	2	個

11. 消火栓開閉金具	FHパール	1	式
12. 吸管スパナ		2	本
13. 管そう	PP65A-EXS	2	本
14. ノズル	ダブコン×2 個 オートマチック G フォースノズル× 2 個	4	個
15. 放口媒介金具	65 差込2個 65.50 マルチ 2 個	4	個
16. とびろ	グラスファイバー製	2	本
17. 金てこ		1	本
18. 剣先スコップ		1	本
19. はしご(3連梯子)	チタン製 搬送用キャスター RFC-075 付	1	式
20. 鍵付きはしご		1	式
21. 車輪止め	樹脂製(中)	2	個
22. 消火器	自動車用 (ABC20 型)	1	本
23. ポンプ工具		1	式
24. ホース 1.6MPa 蓄光タイヤ付	呼称 65 1.6Mpa ×20m(白) ドルフィンエースα 又は同等以上	15	本
25. ホース 1.6MPa 蓄光タイヤ付	呼称 50 1.6Mpa×20m (黄) ドルフィンエースα 又は同等以上	25	本
26. ホース 0.9MPa	呼称 65 0.9MPa×10m	3	本

別表 E 軽微な変更付属品

品 名	規 格	数 量	単 位
1. タイヤチェーン	金属製	1	式
2. 分岐管	ヨネ 65×65.50	1	個

3. ホースブリッジ		2	組
4. 照明器具	発電機 HONDA I 8i 同等以上	1	式
	コードリール 30m防雨型 HATAYABWM-I 30K 同等以上	1	式
	照明及び三脚	1	式
5. 斧		1	本
6. 掛矢		1	本
7. スタンドパイプ	引上・YONE 不動	1	本
8. 特殊ノズル	G フォース S NV-40GST・I	2	本
9. 特殊ノズル	MX-G フォームジェット	1	本
10. 特殊ノズル	区画制圧ノズル CAN	1	本

別表 F 以外の付属品

品 名	規 格	数 量	単 位
1. 空気呼吸器	重松製作所 A-1	4	式
2. 空気呼吸器用ポンベ	530CⅢZ ※保護カバー付	8	個
3. 携帯警報器	モーションスカウト	4	器
4. ジャバラコーン	LED内蔵(700mm)	6	式
5. ボルトクリッパー		1	本
6. 巻尺	50m	1	本
7. 異径媒介金具	・呼び65メス×50オス① ・呼び65メス ×40オス① ・呼び50メス×40オス① ・ 呼び50メス×65オス① ・呼びメス40× 50 オス①	5	本
8. 逆媒介金具	65 オスオス・65 メスメス 50 オスオス・50 メスメス	4	本
9. 高速道路非常停止器具	三角表示盤	1	式

10. 非常用信号器具	発煙筒	1	式
11. 車両工具		1	式
12. 中継用媒介金具		2	個
13. 鉄蓋ジャッキ		1	個
14. LED合図灯	誘導棒	1	個
15. ディスクストレーナー	流線型	1	個
16. ベスト	メッシュ(ワッペン付き)	7	個
17. ホースバッグ		2	個
18. 演習旗(ステンレス製ポール)		1	個
19. 熱画像装置	小型熱画像装置 SRTC-2 又は同等以上	1	個
20. 墜落静止用器具	ショックアブソーバー付	15	式
21. ライト	(LED)	3	個
22. エンジンスターター	ジャンプ	1	台
23. ジェットシューター	S	6	式
24. ホースバンテージ		5	個
25. ホース結束ベルト		6	個
26. 泡消火薬剤(クラスA)	フォレクスパンS 20ℓ	5	本
27. 泡消火薬剤(クラスB)	プロフォーム 20ℓ	5	本
28. バッテリー式油圧救助器具	コンビツール PCT50	1	式
	バッテリー PBPA287	4	個
	メインパワーコネクター	1	個
	POTCI オンツールチャージ コード	1	個
	バッテリー充電器 PBCH4	1	個
29. 可搬ポンプ	(C-1級)	1	台

30. 吹き流し		1	式
31. 風速風量計		1	台
32. メンテナンスオイル	(純正シリコンスプレー)	10	本
33. ステップチョーク	Holmatro ステップチョーク A	1	式
34. チルホール	チルホール TU-16	1	式
35. スタティックロープ	12mm 50m	2	本